

ルートは推測

竜ヶ岳

△1099.5

900

竜ヶ岳から下山での道迷い事例。中道からヨコ谷への分岐より手前で蛇谷側に急な斜面を下った。蛇谷に下り、さらに谷を下ったところで、救助要請者は発見された。運よく金山尾根への取り付き踏み跡を発見し、金山尾根に出れた希運な例だった。

?

道迷い三大地形は「①下りの尾根分岐、②道が急に曲がる、③ピークからの下り」として私が勝手に位置づけ、注意喚起をしていますがこの事例は①下りの尾根分岐で直進してしまったことが要因です。

この事例は、急斜面の下りで沢に出るまでに「あれっ？おかしい？道に迷ったかも？」とうすうす感じながら進んでいたと思われます。遭難者の自分の中にもう一人の「ひょっとして、なんとかなる」という言葉が行動を進めてしまったと思います。

道迷いの心理は、初期の段階だと「なんとかなる」というポジティブな気持ちでいます。中期になると「頑張れ！あと少しで助かる」と自分を励まして行動します。この段階になると自分の行動を制御できません。目の前に滝が現れて、やっと現実を見つめることができるのです。

後から考えると「なぜあんな行動をとったのか？」遭難者自身も分からないことが多くあります。それが、道迷いの心理です。